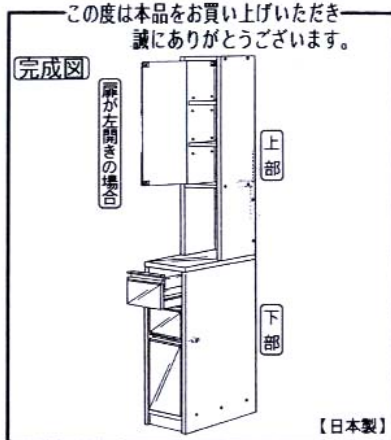


# 天板が使える! ハイ引出し 幅25 組立説明書(型番)F-837



## たんす類の品質表示

寸法  
 外形 (上部) 約 幅 250mm × 奥行き 215mm × 高さ 950mm  
 (下部) 約 幅 250mm × 奥行き 445mm × 高さ 750mm  
 引出しの奥行き 350mm

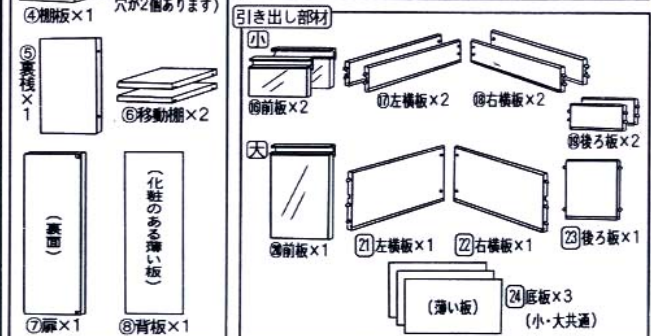
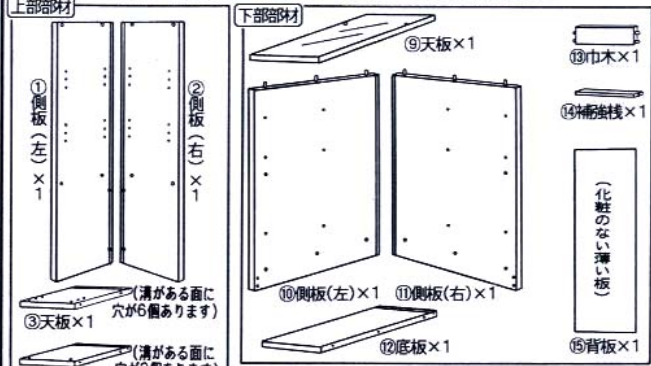
表面材 扉・下部天板・引出前板 鏡面ポリエステル化粧合板  
 その他 プリント紙化粧合板

表面加工  
 取り扱い上の注意  
 イ. 搬入付けの際には、湿気が多いところを避け、家具を水平に保つために必要な措置を講じてください。  
 ロ. 直射日光または、ストーブの熱を避けてください。

耐荷重量についての表示 天板約10kg、可動棚・固定棚約10kgを越えない範囲でご使用下さい。

# 部材・部品明細

(部品明細) ※下図に描かれた部材・部品が揃っているか、確認して下さい。  
 ※梱包を開けると、箱の両面に薄い板が1枚づつ入っています。これは商品を守るためのものであり、組み立てに必要な部材ではありませんので、処分していただくようお願い致します。



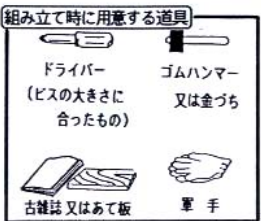
## △組み立て前に必ずお読み下さい!

- 塗料・接着剤等の臭いがかもっている場合があります。梱包を開けて作業する場合は換気室を良くして行ってください。
- 組み立ては十分に広い場所で行い、まわりの家具や床等に傷がつかないように注意してください。
- 組み立ての際は指を挟んだり、足にものを落とさないように充分注意してください。
- 組み立てる前にまず部材・部品を確認してください。
- 万一、傷・不足があればご面倒ですが下記のお問い合わせ窓口までご一報ください。
- ボンドをつける前に仮組み(確認)をすると、間違いがわかります。
- 部材をボンドで接着した後は外す事ができませんのでご注意ください。
- ビスのプラス穴に合ったドライバーを使用し、最初は仮締め程度にして組み上がってから締めてください。
- ビスを必要以上に締め過ぎると、空回りして効かない場合があります。電動ドライバーをご使用の場合はご注意ください。
- ボンドが完全に乾いてから(12時間程度が目安です)ご使用ください。尚、はみ出たボンドは拭き取ってください。

(注意) ※商品を守るために薄い板が2枚入っていますが、組み立てに必要な部材ではありません。

※裏面の取扱説明書も必ずお読み下さい。また、この説明書はいつでも見られるように大切に保管して下さい。

上記の注意事項に充分注意して、正しく組み立てて下さいますようお願い致します。



付属部品				
A 3.8cm ビス×20	B ボンド×2	C レール×6	D 1.6cm レール用 ビス×6	E ビスシール×24
F マグネット×1	G 固定ピン×1	H プッシュピン×1	J 棚ダボ×8	K 直線ピン×2
L 連結金具×2	M 1.6cm 連結金具用ビス×8	N L型金具×2	O 1.6cm L型金具用ビス×8	

※D・M・Oは共通部品です。

# 組み立ての手順

F-837

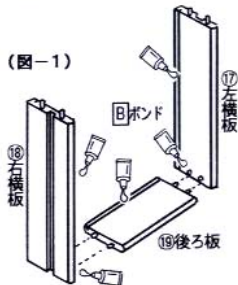
番号の順番に従って、組み立てて下さい。

## 1 引き出しを組み立てる。

### ●引き出し(小)の組み立て

※同じ要領で引き出し(小)を2個組み立てて下さい。

- (1)左右横板⑭・⑮の穴(2個)づつにBボンドを入れて  
⑯後ろ板を取り付け、⑭・⑮・⑯の各溝(各2カ所程  
度)にBボンドを入れておきます。(図-1参照)

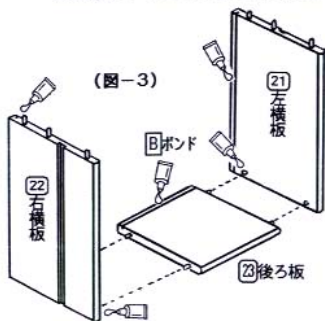


(図-1)

### ●引き出し(大)の組み立て

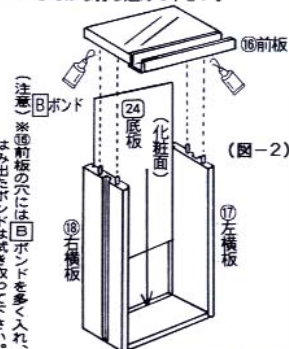
※引き出し(大)を1個組み立てて下さい。

- (1)左右横板⑰・⑱の穴(2個づつ)にBボンドを入れて  
⑲後ろ板を取り付け、⑰・⑱・⑲の各溝(各2カ所程  
度)にBボンドを入れておきます。(図-3参照)



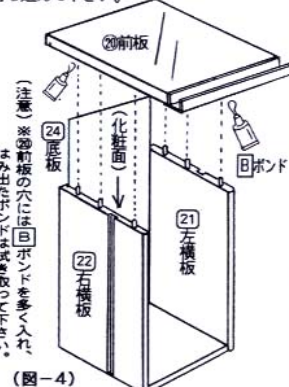
(図-3)

- (2)⑰と⑱の溝に沿って⑳底板を差し込み、  
⑳前板の穴と溝にBボンドを入れ、  
⑰と⑱の突起した部分に穴を合わせて、  
上から傷のつかないようにあて物をあ  
てて打ち込みます。(図-2参照)  
この時、㉑が各溝に入っているか確認  
してから打ち込んで下さい。



(図-2)

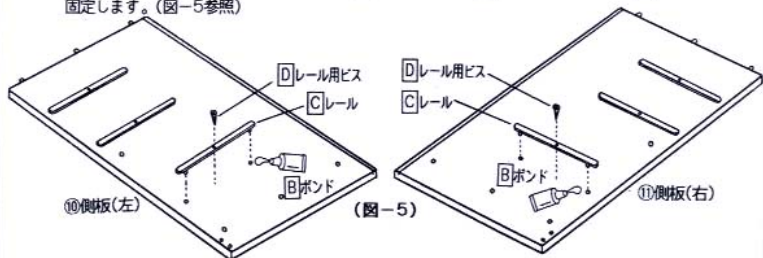
- (2)⑰と⑱の溝に沿って㉒底板を差し込み、㉒前板の  
穴と溝にBボンドを入れ、⑰と⑱の突起した部  
分に穴を合わせて、上から傷のつかないよう  
にあて物をあてて打ち込みます。(図-4参照)  
この時、㉓が各溝に入っているか確認して  
から打ち込んで下さい。



(図-4)

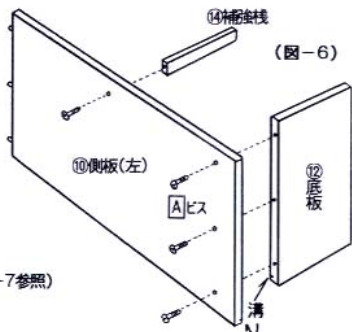
## 2 下部を組み立てる。

- (1)左右側板⑩・⑪のレール用の穴(6個づつ)にBボンドを入れてCレールを差し込み、Dレール用ビスで固定します。(図-5参照)



(図-5)

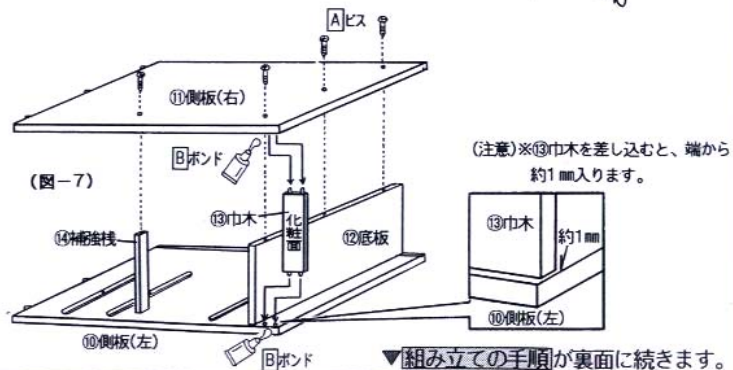
- (2)⑩側板(左)に⑫底板と⑬補強線を、Aビスで  
取り付けます。(図-6参照)



(図-6)

- (3)⑩の穴(2個)にBボンドを入れて⑬巾木を差し  
込み、⑪側板(右)の穴(2個)にもBボンドを入  
れて⑬に差し込みます。

- (4)⑩を⑫と⑬にAビスで固定します。(ここまで図-7参照)



(図-7)

(注意)※⑬巾木を差し込むと、端から約1mm入ります。

▼組み立ての手順が裏面に続きます。

※この説明書は、製品の仕様やデザインが変更される場合があります。ご了承ください。



### 3 下部を組み立てる。(続き)

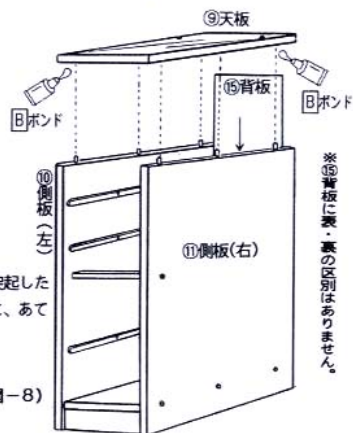
F-837

(1)下部を起こし、⑩と⑪の溝に沿って⑮背板を差し込みます。

(2)⑨天板の穴(6個)に⑮ボンドを入れ、⑩と⑪の突起した部分に穴を合わせて、上から傷のつかないように、あて物をあてて打ち込みます。

この時、⑮が各溝に入っているか確認してから打ち込んで下さい。

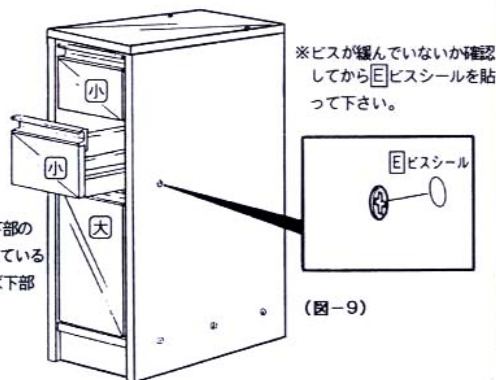
(図-8)



※⑮背板に裏・裏の区別はありません。

### 4 引き出しを差し込む。

組み上がった引き出しの溝を、下部のレールに合わせて差し込み、見えているビスの頭に⑮ビスシールを貼れば下部の完成です。



※ビスが緩んでいないか確認してから⑮ビスシールを貼って下さい。

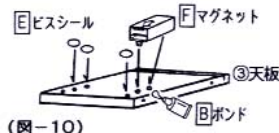
(図-9)

### 5 上部を組み立てる。

【注意】※マグネットを取り付ける時は、扉を右開きにするか左開きにするか決めた上で取り付けて下さい。

●扉を右開きにする場合………

③天板に⑮マグネットを取り付け、不要な穴(3個)に⑮ビスシールを貼ります。(図-10参照)



(図-10)

●扉を左開きにする場合………

③天板に⑮マグネットを取り付け、不要な穴(3個)に⑮ビスシールを貼ります。(図-11参照)

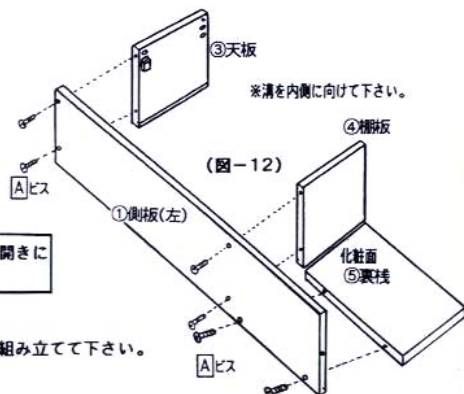


(図-11) ③天板

①側板(左)に③天板・④棚板・⑤裏様を、それぞれ向きと位置を間違えないように、⑮ビスで取り付けます。(図-12参照)

【注意】※図-12～図-16は扉が右開きになる組み立て図です。

※左開きの場合も同じ要領で組み立てて下さい。

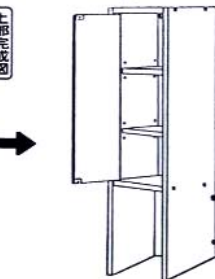
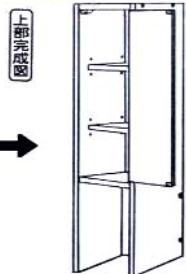


(図-12)

※溝を内側に向けて下さい。

●マグネットを図-10の位置に  
取り付けると右開きになります。

●マグネットを図-11の位置に  
取り付けると左開きになります。



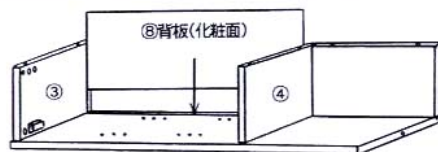
※図の場合⑮マグネットに古雑誌等をあて替えた方がよいです。  
なお、たたき過ぎると破損する恐れがありますので、マグネットの脚(2)をサンドペーパー等で少し削ると入り易くなります。  
但し、削りすぎに注意下さい。  
※細い場合は⑮ボンドを入れて下さい。

▼組み立ての手順が別紙に続きます。

## 6 上部を組み立てる。(続き)

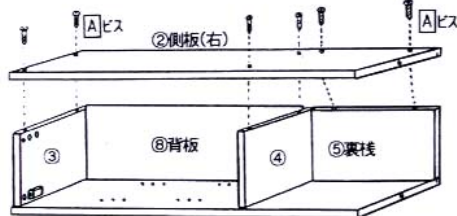
F-837

(1)③と④の溝に沿って⑧背板を差し込みます。(図-13参照)



(図-13)

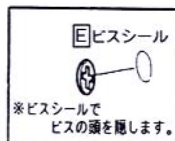
(2)②側板(右)を③・④・⑤に[A]ビスで取り付けます。(図-14参照)  
この時、⑧が各溝に入っているか確認してからビス締めして下さい。



(図-14)

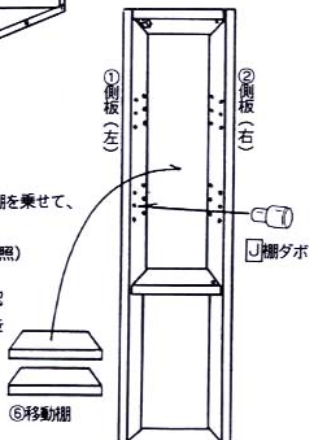
(3)左右側板①・②のお好みの穴にJ棚ダボを差し込み⑥移動棚を乗せて、  
見えているビスの頭にEビスシールを貼って下さい。

(図-15・図-16参照)



(図-15)

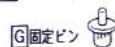
※ビスが緩んでいないか確認してから、Eビスシールを貼って下さい。



(図-16)

## 7 扉を取り付ける。

注意※図-17・図-18は扉が右開きになる組み立て図です。



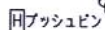
(1)⑦扉にG固定ピンとHプッシュピンを  
差し込みます。(図-17参照)

(2)扉を上部に取り付けます。

まず、③天板の穴に扉上部のG固定ピンを差し込み、扉下部のHプッシュピンのピン先を指で押さえながら滑らすようにして、④棚板の穴に入れます。

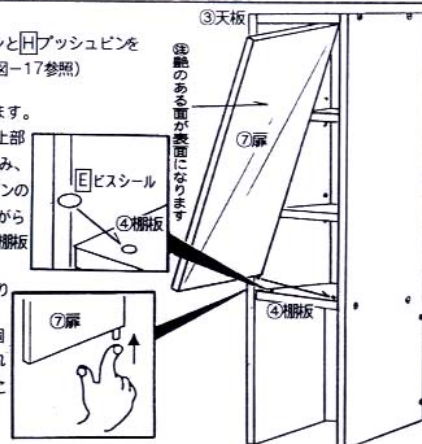
カチッと音がすれば取り付け完了です。

(3)④棚板の不要な穴1個にEビスシールを貼れば上部の完成です。(ここまで図-18参照)



(図-17)

※Hプッシュピンはピン先を指で押さえるとへこみます。



(図-18)

注意※図-19・図-20は扉が左開きになる組み立て図です。



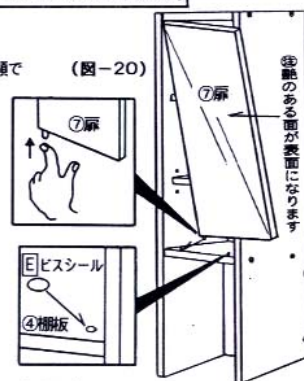
左開きの場合も、右開きと同じ要領で  
扉を取り付けて下さい。



(図-19)

※G固定ピンとHプッシュピンを上・下逆に取り付けても、扉の取り付けは可能です。

この場合、G固定ピンを先に④棚板に入れて下さい。



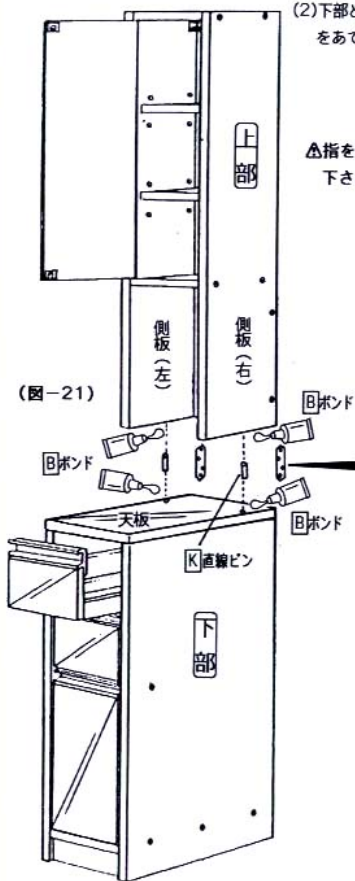
(図-20)

▼組み立ての手順が裏面に続きます。

## 8 上部と下部を連結する。

F-837

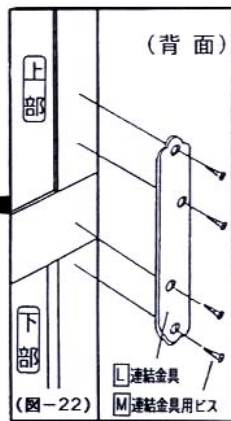
(1) 下部の天板の穴にBボンドを入れてK直線ピンを差し込み、上部の左右側板の穴にもBボンドを入れ、ピンに合わせて差し込みます。(図-21参照)



(図-21)

(2) 下部と上部の背面の両端に、上・下を繋ぐようにしてL連結金具をあて、M連結金具用ビスで固定します。(図-22参照)

△指を挟んだり、落としたりしないように充分注意して下さい。

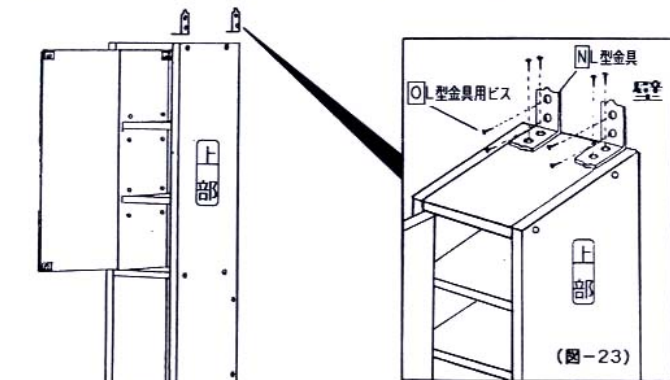


(図-22)

## 9 L型金具の取り付けについて

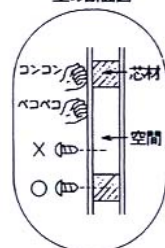
地震などによる転倒を避けるため、N L型金具を上部の天板上面に取り付けます。

壁へは必ず芯材のあるところに取り付けて下さい。(図-23・図-24参照)



(図-23)

壁の断面図



(図-24)

- 【使用前の注意】 ※組み上がった後、各接合部に隙間がないか確認して、ボンドが固まるまで2時間程度待ってからご使用下さい。
- 【使用上の注意】 ※扉を開ける時は、扉をゆっくり押さえずに素早く押さえて下さい。  
なお、なるべく下の部分を押さえて下さい。
- 【使用上の注意】 ※引き出しをいっぱいまで引き出すとレールから外れる恐れがありますのでご注意下さい。
- 【使用上の注意】 ※組立終了後にビスが緩んでいないか確認して下さい。  
尚、月1回程度ビスの緩みや異常がないか点検して、安全にご使用下さい。